

小児医療費の無償化について(案)

資料1

子育て世帯の経済的負担を一層軽減するため、各市町村のご意向、ご協力に基づき、小児医療費の完全無償化について検討。

■完全無償化(案)

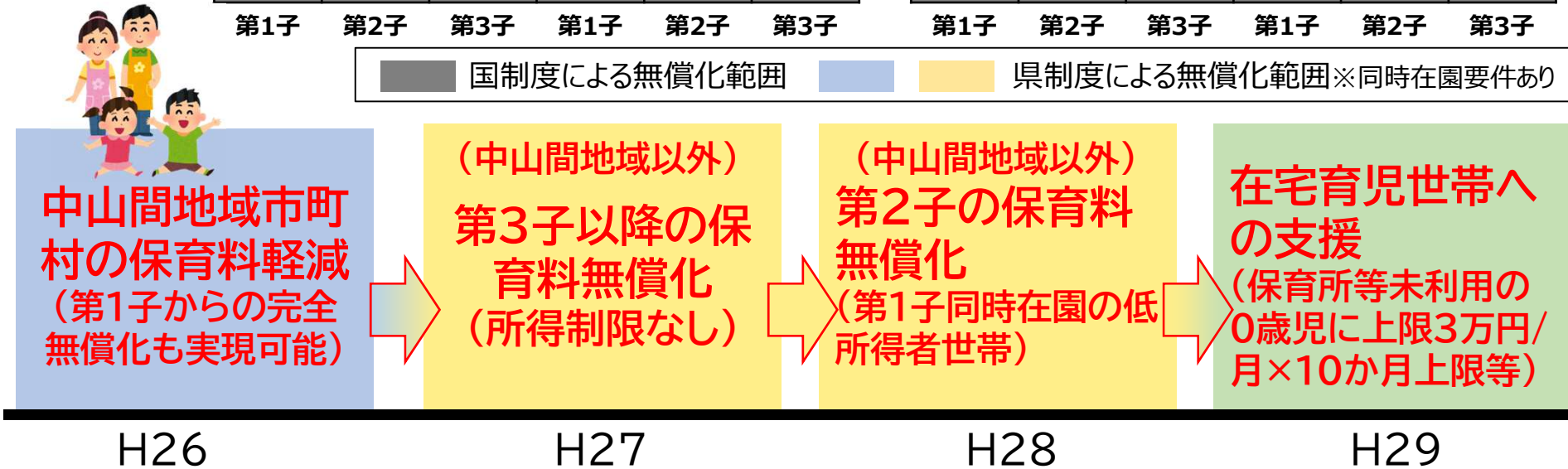
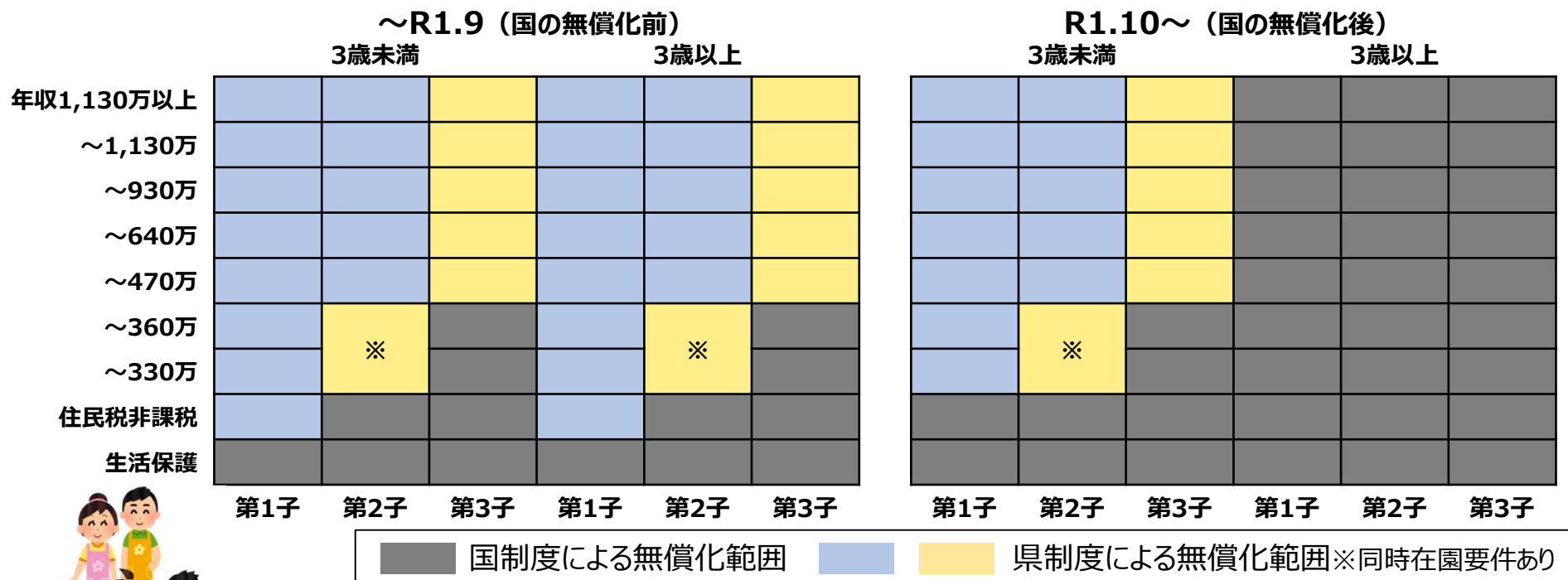
区分	現行	改正後
実施主体	市町村	
助成対象者	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者	
所得制限	なし	
患者負担額	■入院 1,200円/日 ■通院 530円/日	無償
県・市町村負担割合	県1/2、市町村1/2(市町村が患者の自己負担分に助成した金額に対し、県がその助成金額の1/2を補助)	

■開始時期(案) R6年4月

※市町村のご了解が得られるなら、県として、制度改正に係る市町村の事務経費・システム改修経費の負担軽減のため、6月補正予算で市町村補助金を検討したい。

※全国一律の医療費助成制度の創設については、国要望を継続していく。

本県の保育料無償化の状況



⇒保育料の一層の負担軽減、シン・子育て王国とっどりの実現に向けて、各市町村のご意向を踏まえながら検討を進めさせていただきたい。

6月補正予算で検討中の保育人材確保策

子育て支援充実について、多くの市町村長から保育人材確保等に向けた支援要望があったことから、保育人材確保や現場の負担軽減のため、以下の補助事業創設を検討。

- ①保育施設に就職した潜在保育士等に奨励金を支給(県1/2、市町村1/2)
 - ・潜在保育士(有資格者)10万円
 - ・子育て支援員等(無資格者)3万円
- ②保育施設が行う保育支援者(保育士の補助業務を行う者)の配置を支援(国1/2、県1/4、市町村1/4)
- ③保育施設における使用済おむつの処分を支援(国1/3、県1/3、市町村1/3)

(参考:当初予算で取組を進めている保育人材確保策)

- 保育士・保育所支援センターを通じた潜在保育士、学生等の就職支援
- 保育人材確保に向けた実態調査(現役保育士、潜在保育士、保育施設等、学生向け)
- 早期離職防止のための新人保育士向け合同研修会 等

【6月補正で検討】カップル倍増作戦をスタート！

- 「えんトリー」の機能強化や支援策拡充により、出会いの機会創出を促進。
- カップル倍増！年500組を実現し、成婚数増加と少子化対策に繋げる。
- 当初予算で配置した「結婚支援コンシェルジュ」も5月から本格稼働。縁ナビの再発掘や市町村・企業等との連携・支援体制を構築していく。



えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）の機能強化

① マッチングシステムの機能強化

- えんトリーのマッチングシステムに**性格診断機能**を追加
⇒利用者の性格を類型化し、**タイプが合う相手をAIがマッチング**。結婚希望者の**早期の出会い**につなげる。



② 縁結びナビゲーターの活動強化

- 縁ナビの**横の繋がり**を強化するため**統括リーダー**を設置
⇒地域を超えた**広域的な出会い**を提供
⇒**縁結びのノウハウ**を縁ナビに**横展開**
- カップル**成立数・成婚数**に応じ**報奨・表彰**
⇒縁ナビの**活動・創意工夫**を促進

メタバース空間の活用

- ネット上の仮想空間**メタバース**等を活用して**恋活・婚活イベント**を開催
- 対面の**コミュニケーションに苦手意識**を持つ方でも**出会いのハードルを下げ**、円滑な出会いの機会創出に



その他の支援策

- 出会い創出**イベントへの助成を拡充**
⇒**補助上限の拡大**、対象を**民間企業にも拡大**
- 隣接県(島根、岡山、兵庫)連携の**対面イベント**
- 若年層のえんトリー登録促進**(割引キャンペーン)
- 民間**マッチングアプリと連携**(婚活リテラシーセミナー)
- 出会い・結婚を応援する**機運醸成**

産後ケア事業の充実について

■取組の現状及び成果

○市町村が実施する産後ケア事業の利用者負担額を県が補助して、**全市町村で利用料を無償化**(R2～)

⇒利用者数が大幅に増加し、支援が拡大

○宿泊型産後ケアを行う助産所を増やすため、**有床設備のある助産所の設置に必要な増改築又は改修に要する経費を補助**(R2～)

⇒4施設で施設整備を実施(うち新規3施設)

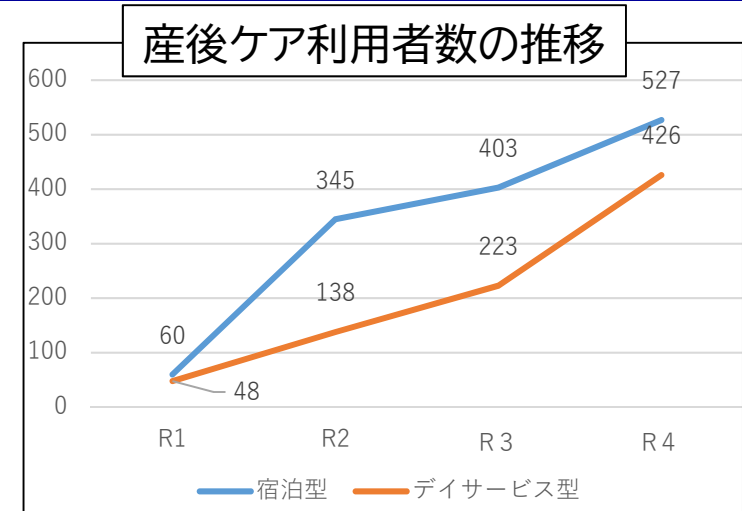
○デイサービス型の施設整備へ補助対象を拡大

○今後のニーズ拡大を踏まえた新たな産後ケア施設の設置

○産後ケア施設の安定的な運営に向けた委託料の単価設定

⇒**各市町村・県助産師会のご意見を伺いながら、今後の対応を検討したい。**

※国に対して、標準的な委託単価の提示や財政支援を、引き続き要望していく



英語教育の推進について

児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上に向けて、新たにALT等を活用した事例についての教材作成や英語による発信力強化に向けた事業を計画していますので、事業実施にご協力いただくとともに、各市町村においてもALTをより積極的に活用いただくなど、引き続き英語の授業改善を進めていただきたいと思います。

ALT等の効果的な活用

・ALTと学ぶわくわくコミュニケーション事業【小中学生】

ALTを活用し、日常から英語に触れる機会を創出している事例（パフォーマンステストや異文化理解等）の教材を作成し周知・展開

・小学生のための1 DAYイングリッシュ【小学生】

小学生が、ALT等ネイティブスピーカーと様々な活動を通して英語に親しむイベントを開催（7・8月）
[3、4年生対象：親子でイングリッシュDAY 5、6年生対象：新しい友達とイングリッシュDAY]



・ネイティブスピーカーと過ごす中高生合同の英語での発信力養成キャンプ【中高校生】

中学生及び高校生のための、ALT等ネイティブスピーカーによる3日間にわたる目的別のスピーキング講座を開催（8月）

・ネイティブスピーカーとのオンラインスピーキング【中学生】

中学生の英語を話す力を伸ばすために外国人講師とのオンライン英会話レッスンを導入する市町に、受講料を支援

・高校生海外交流促進事業【高校生】

高校生の海外派遣等を支援 [江原道青少年国際フォーラム ・鳥取県英語弁論大会（優秀者をニュージーランド派遣）・クライストチャーチ架け橋プロジェクト]

外部試験の活用

・外部試験を活用した児童生徒の英語力向上事業

県内全公立中学生と小学6年生（希望者）に外部試験（中：英検IBA ・ 小：英検ESG）を実施

・外部試験を活用した英語科教員の授業力・指導力改善事業

外部試験の結果を分析・活用する研修会等を実施し、授業改善の推進を支援